

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	270101553
法人名	有限会社青森福祉サービス
事業所名	グループホーム上磯
所在地 (電話番号)	〒030-1272 青森県青森市小橋字田川93番地1 (電話) 017-761-3080

評価機関名	社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20-30 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成 20年 10月 22日	評価確定日	平成 20年 12月 1日

【情報提供票より】(平成20年9月1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和(平成) 15年 4月 1日		
ユニット数	3 ユニット	利用定員数計	27 人
職員数	25 人	常勤	21人, 非常勤 4人, 常勤換算 20.5人

(2) 建物概要

建物構造	木造造り		
	2 階建ての	階 ~	1 階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	9,000 ~ 冬期15,000 円
敷金	有() 円 (無)		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有() 円 (無)	有りの場合 償却の有無	有 / 無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
または1日当たり 1,200 円			

(4) 利用者の概要(9月1日現在)

利用者人数	27 名	男性	12 名	女性	15 名
要介護1	1 名	要介護2	7 名		
要介護3	9 名	要介護4	7 名		
要介護5	3 名	要支援2	0 名		
年齢	平均 83.2 歳	最低	70 歳	最高	96 歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	森山内科クリニック、仲篠歯科
---------	----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

<p>入居者が重度化していく中でも、入居者一人ひとりが日常の中に役割ごとや生きがいを見だし、共に支えあい、喜び合う様子がうかがえる。また地域との交流も活発に行われており、地域からの支援も厚い。</p>

【重点項目への取り組み状況】

重点項目	<p>前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)</p> <p>入浴の支援では、各ユニットの入浴日、時間をずらすことによって、本人の希望にできるだけそえるように工夫している。また職員の育成は、外部研修受講の機会をつくり、研修内容を職員会議での報告や資料の閲覧を行っているなど改善に向け取り組んでいる。</p>
	<p>今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)</p> <p>運営推進会議や職員会議において、検討し改善に向けて取り組んでいる。</p>
重点項目	<p>運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4,5,6)</p> <p>外部評価の報告や改善内容の報告、検討を行うなど会議を有効に活用し、サービスの向上に努めている。</p>
重点項目	<p>家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部10,11)</p> <p>面会時や運営推進会議において、家族から意見等を言いやすいように体制を整えている。</p>
重点項目	<p>日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)</p> <p>地域行事への参加やホームでの行事への招待や協力、保育園や地域のグループホームとの交流等、地域との連携がなされている。</p>

2. 評価結果(詳細)

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	「私たちは常に福祉の心もち、利用者に接します。」 「私たちは常に利用者の視点で物事を考えケアします。」 「私たちは常に利用者の自立支援を考えケアの向上につとめます。」の3つ利用者主体の理念を作り上げている。		地域との交流に関する項目が盛り込まれることを期待したい。
2	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	日々のミーティング等で理念を共有し、理念に沿ったサービスの提供に努めている。		
2. 地域との支えあい					
3	4	隣近所、地域とのつきあい及び地域貢献 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけあったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるよう努めている。事業所は地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている。また、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる。担当職員はキャラバンメイトになるなど、地域の認知症普及活動に参加している。	敬老会や盆踊り、港祭り等、地域の行事に参加したり、夏祭り等のホームの行事に町内会や民生委員の協力を得ながら実施したり、また近隣の保育園等との交流等、地域と積極的に交流が図られている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	5	<p>評価の意義の理解と活用</p> <p>運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる</p>	<p>評価の意義を理解し、職員会議で改善策を協議し改善に取り組んでいる。</p>		
5	6	<p>運営推進会議を活かした取り組み</p> <p>運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている</p>	<p>外部評価の結果や取り組み等を報告し、サービスの向上に役立てている。</p>		<p>欠席者からの意見の聴取や報告がなされることを期待したい。</p>
6	7	<p>市町村との連携</p> <p>事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、運営や現場の実情等を積極的に伝える機会を作り、考え方や運営の実態を共有しながら、直面している運営やサービスの課題解決に向けて協議し、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる</p>	<p>業務の改善のために担当者との話し合いをもち、アドバイスを受けるなどして、サービスの質の向上に取り組んでいる。</p>		
7	8	<p>権利擁護に関する制度の理解と活用</p> <p>管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している</p>	<p>制度を利用している入居者はいるものの、職員全体が制度を理解するには、至っていない。</p>		<p>定期的な勉強会や研修を実施し、制度の理解を深め、全職員が対応できることを期待したい。</p>
8	9	<p>虐待の防止の徹底</p> <p>管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている</p>	<p>職員会議や日々職員間で点検や確認をし虐待の防止に努めている。</p>		<p>定期的な勉強会や研修を実施し、法の理解を深め、更なる虐待防止を期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
9	10	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>契約書と重要事項説明書を用い、十分な時間をかけ説明を行っている。</p>		
10	12	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>毎月、担当職員が報告書を作成し、日々の様子や職員の異動等を報告している。また広報誌の発行、面会時を利用して、報告している。</p>		
11	13	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>面会時や運営推進会議等で意見を聞き、職員会議で検討し、運営に反映させている。</p>		
12	16	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>1年に1度、担当ユニットの変更はあるものの普段から、担当ユニット外での挨拶や声かけを実施し、影響がでないように努めている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
13	17	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	外部研修には、順番に参加できるようにし、職員会議で報告を行い、研修資料は誰でも閲覧できるようにしている。		研修計画を策定するなどして、計画的に研修を実施することにより、職員の研修体制が充実することを期待したい。
14	18	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	同じ地域の同業者とお互いの行事に参加しあったり、地域行事や研修会で交流を図ったりし、サービスの質の向上に努めている。		
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
15	23	馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、職員や他の利用者、場の雰囲気になじみながら徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	大部分は、即刻の入居であるため、本人や家族から生活歴等の情報提供に協力してもらいながら、徐々になじみの関係を築いている。また希望があれば、見学や日中に体験利用ができるようにしている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
16	24	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	生活の中で、できることを見いだして、できることが増えた喜びを共有し、支え、支えられる関係作りがなされている。		


外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
17	30	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	本人や家族から思いや意向を聞いたり、日常の会話の中から見いだしたりしたことを職員全体が共有しケアに役立てている。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
18	33	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	本人や家族に確認しながら、職員全体で話し合い、本人本位の介護計画を作成している。		
19	34	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	状態の変化に合わせて、今後の対応を職員全体で話し合い、入居者の現状に即した介護計画を作成している。		
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
20	36	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	外泊時、送迎が困難な場合に送迎を行う等、外出支援を行い、今までの関係が途切れないようにしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
21	40	<p>かかりつけ医の受診支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族の希望する医療機関への受診を支援しており、入居者の状況に合わせて医療が受けられるよう、家族と相談しながら行っている。また受診が困難な場合は、往診が受けられるように支援している。</p>		
22	44	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>入居者の重度化が進んでおり、重度化に対する対応は、行われているものの終末期の対応については、十分に医療機関や職員と話し合いがなされていない。</p>		<p>終末期に対する方針を定め、医療機関や職員と話し合い、本人や家族が望む終末に対応できる体制作りに期待したい。</p>
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
23	47	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>入居者の立場に立って接している姿がうかがえた。また職員会議等で入居者のプライバシーに関する話を話されている。</p>		
24	49	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>入居者のペースに合わせたケアや入居者の健康状態や意向を確認しながら支援している。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
25	51	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、可能な場合は利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者の状態に合わせ、食べやすいような盛り付けを工夫したり、食事介助したりしている。また和やかに談笑し、後片付けができる入居者は、自主的に職員と共に後片付けを行っている。		
26	54	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	それぞれのユニットは、曜日等を固定しているがユニットごとに曜日を変えており、希望があれば、別ユニットでの対応を行っている。		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
27	56	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	おしぼりをたたんだり、暦をめくったりするなど、生活の中にそれぞれ役割をもち、個々の能力に応じた支援をしている。		
28	58	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	入居者の体調、状態に合わせ、買い物やドライブ等の支援をしている。また天気のよい日は、外気浴や散歩の支援を行い気分転換を図っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4)安心と安全を支える支援					
29	62	<p>身体拘束をしないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>職員会議や日々職員間で点検や確認をし身体拘束のないケアに努めている。</p>		<p>定期的な勉強会や研修を実施し、制度の理解を深めていくことを期待したい。</p>
30	63	<p>鍵をかけないケアの実践</p> <p>運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる</p>	<p>鍵をかけることの弊害を理解しており、外出するときは、職員が付き添い見守りしながら安全確保に努めている。</p>		
31	68	<p>災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている</p>	<p>訓練は、年3回実施されており、災害発生時の入居者の安全確保に努めている。</p>		<p>運営推進会議等を通じ、地域の協力を呼びかけているが、実現に至っていない。地域の協力が得られるよう、各方面に働きかけ協力が得られることに期待したい。</p>
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
32	74	<p>栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p>入居者の嗜好を把握し、摂取量の少ない入居者には、調理の工夫をしたり、時間をかけて介助したりし食事を摂取できるようにしている。また食事量が少ない場合は、医師が処方した補助飲料の摂取やこまめな水分補給を行っている。</p>		
33	75	<p>感染症予防</p> <p>感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)</p>	<p>感染予防の情報を収集し、マニュアルを作成し、実施している。</p>		<p>定期的な勉強会や研修を実施し、さらに予防の強化に努めていくことを期待したい。</p>

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
<p>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</p>					
<p>(1) 居心地のよい環境づくり</p>					
34	78	<p>居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>季節に合わせて玄関やホールに花を飾ったり、不快な音がないように配慮したり、入居者がゆったり過ごせるようにしている。</p>		
35	80	<p>居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>使い慣れたものを持ち込んでもらい、家族と相談しながら入居者に合わせた居室になるよう努めている。</p>		

 は、重点項目。